

益子町【栃木県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



■協議会メンバー…
益子町文化財保護審議会／益子町商工会／益子町観光協会／益子町獅子舞保存会

■構想策定年度…
平成二九年三月
■補助事業期間…
平成三〇年四月二日
平成三一年三月二九日

歴史文化基本構想の概要

益子町の文化財を将来にわたりの確に保存・活用していく上で「引き出す」「まもる」「広める」「活かす」を基本方針とし、歴史文化保存活用地区、拠点資産などを中心に文化財の有形無形、指定未指定を問わず、面的に保存・活用の方策を実施していく。

観光拠点形成の方向性

- ・新ましこ未来計画に基づく地域資源の魅力向上と面的な整備
- ・県内外、国内外の交流人口の増加
- ・周遊を楽しめるような仕組みづくり

観光に関する課題

- ・文化財等の案内板・説明板の不足
- ・周遊ルートにおけるトイレの整備
- ・文化・観光イベントの連携
- ・文化財関係の講座やPR、人材不足

事業概要

文化財情報発信推進事業（案内板の整備）

文化財を訪ねる方がスムーズに文化財にたどりつけ、町の歴史や文化を深く理解し、魅力を感じてもらおうことができるため、案内板を設置した。既存の案内板とデザインを統一し、平成30年度は七井地区7カ所に設置した。

■KPI 入込観光客数：210万人（H28）→250万人（R2）

情報
発信



外国人留学生モニターツアー

文化財や観光施設を回遊してもらい、整備計画の基礎調査・情報収集をするため、外国人留学生モニターツアーを実施した。平成30年度は2回実施し、欧米の学生6名とアジア系の学生6名が参加した。一泊二日で益子・上大羽地区をめぐる。

■KPI 外国人観光客宿泊者数：640人（H28）→700人（R2）

普及
啓発



益子町文化財ガイド養成講座

現在も組織されている観光ボランティアのスキルアップと新規ガイド養成を図るため、養成講座を実施した。平成30年度は町外から講師を招いて3回実施し、益子町の縄文時代、古墳時代、山車・屋台について学んだ。

■KPI 文化観光ガイドの利用数：947人（H28）→1,200人（R2）

人材
育成



七井地区周遊環境整備事業

七井地区の周遊を促すためにトイレの整備を行った。小宅古墳群（県指定史跡）を有する亀岡八幡宮の駐車場に設置した。ここは簡易トイレが1基設置されていたため、周遊を促すことが困難であった。

■KPI 入込観光客数：210万人（H28）→250万人（R2）

活用
整備



成果

① 小宅古墳群への来場者が増加

七井地区の拠点資産のひとつである小宅古墳群。案内板の設置やトイレの整備を行ったことで来場者が増加し、町全体の入込観光客数が増加した大きな要因となった。

② ガイド養成講座の参加者数の増加

歴史講座を兼ねて実施した文化財ガイド養成講座。参加者の平均が前年度から10人以上増加した。ガイドのスキルアップにもつながり、2020年のガイド利用者目標数1,200人（H29は900人）の達成につなげたい。